

西暦 2018 年 7 月 18 日作成

研究課題名	妊婦のアドヒアランスを促進する冷え症改善支援モデルの開発 —デジタルコンテンツを活用した冷え症に関する看護職の知識向上のための教材開発—
研究の対象	全国の病院と診療所の産科病棟もしくは産科外来に勤務する看護職で、研究協力を同意した者です。
研究の目的	デジタルコンテンツを活用し、エビデンスに基づいた「妊婦の冷え症に関する教育プログラム『看護職版：冷え症教育プログラム「冷 Yale(エール)』」を開発し、冷え症の知識ならびに冷え症ケアの意識向上への有効性を評価することです。
研究の概要	先行研究から、冷え症は異常分娩につながるリスク因子であることが推定されました。しかし、冷え症ケアを実施している病院や診療所は約 30%と少ない状況です。その理由として、冷え症に対する学習経験が乏しいことが明らかになりました。そこで、本研究では、エビデンスに基づいた「妊婦の冷え症に関する教育プログラム『看護職版：冷え症教育プログラム「冷 Yale』」を開発し、冷え症に対する知識と意識の向上に役立てます。
研究の方法	<介入群>『看護職版：冷え症教育プログラム「冷 Yale(エール)』」を 2 週間実施していただく。1 週目は理論編、2 週目は実践編の合計 2 週間をかけ、冷え症に関する教材を使用して学習を実施していただく。 <対照群>：先行研究で作成した冷え症のエビデンスに関するパンフレットをお渡しする。 評価：無記名自記式質問紙を用いて、介入前、介入終了 1 週間後と 4 週間後の合計 3 回、両群とも同様の評価ツールを使用して評価いたします。
研究期間	西暦 2018 年 8 月 21 日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日
個人情報保護に関する配慮	本研究では、新たに本人に付された識別コードを用いて管理し、質問紙調査はすべて無記名であり、識別コードを使用して、調査前後の対象を一致させるため個人情報が特定されることはありません。管理については、本研究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう、紙媒体は施錠管理・保管する。電子データは暗号化された USB に保存し、インターネットでの情報共有は行いません。研究の結果を公表する際は、個人が特定されないことを保証します。
<p>本研究のために、対象者の皆様にあらたな負担や危険が生じることはありません。なお、質問紙は無記名であるため、投函後に個々の質問紙を特定することは不可能であるため、投函後は撤回することができません。また、本研究への参加をお断りになられたとしても、不利益になることは一切ございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻母性看護学分野 中村幸代 TEL:045-787-2786 E-mail: nakamura@yokohama-cu.ac.jp</p>	